

■ 毛利 進太郎

神戸学院大学教授、図書館・情報支援センター所長。1999年大阪大学大学院工学研究科応用物理学専攻、単位取得満期退学。博士(工学)。1994年岡山大学工学部情報工学科終了後、同大学院修了を経て、1999年大阪大学工学研究科応用物理学専攻単位取得退学。1999年神戸学院大学経済学部講師、2002年同大学助教授、2017年より現職。2019年度より図書館・情報支援センター所長を務める。2022年度より数理・データサイエンス・AIリテラシープログラムの教育に携わっている。主著として『文科系のための情報科学』共立出版(共著)。

■ 中澤 明子

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属教養教育高度化機構EX部門 特任准教授。大阪大学大学院人間科学研究科修了、博士(人間科学)。東京大学教養学部附属教養教育高度化機構特任助教、東京大学大学院総合教育研究センター特任助教、東京大学大学院総合教育研究センター助教授を経て、2020年10月より現職。専門は教育工学。初中等教育や高等教育における、ICT活用教育やアクティブラーニングの導入・実施支援をテーマに研究。

■ 村上 幸三

昭和大学医学部放射線医学講座放射線学部門准教授、医師、医学博士。2002年昭和大学医学部卒業。2002年昭和大学大学院医学研究科外科系脳神経外科学入学し2008年に学位取得。2011年より昭和大学医学部放射線医学講座に入局し、2017年昭和大学医学部放射線医学講座放射線治療学部門講師、2022年昭和大学医学部放射線医学講座放射線治療学部門准教授、2024年に昭和大学においてAIを活用した医療の発展に寄与するため、現職に就く。教育に関しては、ICT基盤教育委員会の委員として教育におけるICT活用を検討し普及させることに邁進している。

■ 鈴木 慎太郎

昭和大学医学部医学教育学講座/医学教育推進室准教授。2001年昭和大学医学部卒業。2001年昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門入局、同大学院医学系研究課程入学(病理系)。2005年横浜市立みなと赤十字病院アレルギーセンター医員、2015年スウェーデン王国イエテボリ大学クレンジングリサーチセンター客員研究員、2017年昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門講師、2022年同准教授を経て現職。医学部卒業教育においてアクティブラーニングやICT基盤教育の研究、推進を行い、卒後・生涯教育では優れたアレルギー専門の養成事業に従事している。

■ 泉 美貴

昭和大学医学部医学教育学講座教授。医師、医学博士。1988年川崎医科大学卒業。同大学病理診断科、横須賀米海軍病院、NTT東日本関東病院病理診断科、東京医科大学医学部病理診断学教室などを経て、2009年より医学教育学講座教授。2017年から昭和大学医学部医学教育講座に在籍。2020年より、ICTを利用したオンデマンド講義により、座学講義を廃止する本邦初の医学教育カリキュラムを実践中。

■ 澤崎 敏文

仁愛女子短期大学教授、福井大学産学官連携本部客員教授、株式会社ふくいコミュニケーションズ取締役、福井商工会議所専門アドバイザー、福井県商工会連合会専門相談員、鯖江市指定管理者第三者評価委員長。2000年米国ラトガース大学にてMBA取得。その後、行政職員、企業経営を経て現職。著書に「PowerPointでかんたん! 動画作成(技術評論社)」「パワポで描く! 図とイラスト(技術評論社)」などがある。

■ 中村 理

早稲田大学政治経済学部准教授。1993年京都大学理学部卒業。2001年東京大学理学系研究科博士課程天文学専攻修了、博士(理学)。ノッティンガム大学研究員などを経て2005年より早稲田大学大学院政治学研究科科学技術ジャーナリスト養成プログラム客員研究助手、次第にメディア分析へ。2012年より現職。

■ 竹内 和広

大阪電気通信大学情報通信工学部教授。2002年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程修了、博士(工

学)。2006年より大阪電気通信大学専任講師、2009年より同大学准教授、2016年より同大学教授。自然言語処理、人工知能の研究に従事している。

■ 安野 舞子

横浜国立大学教育推進機構准教授。カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)教育学大学院博士課程修了(Ph.D.)。創価大学教育・学習活動支援センター助教、横浜国立大学大学院教育総合センター講師、高大接続・全学教育推進センター准教授を経て2024年4月より現職。専門は高等教育。学内の教育改善活動(FD)に従事。

■ 浦田 悠

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部准教授。京都大学大学院教育学研究科・博士課程修了。2011年に博士(教育学)を取得。2014年12月より大阪大学。専門はポジティブ心理学、教育工学、ICT活用教育。現職では学習評価やブレンドド授業、生成AIの利活用等のFDを担当しつつ、ICTを用いた学習環境の改善および評価に関する業務や研究に従事している。

■ 木村 佐千子

獨協大学外国語学部ドイツ語学科教授。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。ポーフム・ルール大学(ドイツ)にて哲学博士号(音楽学)取得。2020年から、大学教育におけるAI活用の研究に取り組む。https://researchmap.jp/read0103804/

■ 鈴木 貴

大阪大学数理・データ科学教育研究センター副センター長。1953年生まれ。理学博士(東京大学)。専門は解析学・非線形偏微分方程式論、数理科学・数理医学。大阪大学理学研究科教授、基礎工学研究科教授を経て、2017年より数理・データ科学教育研究センター(MMDS)特任教授。数理・データサイエンス・AI教育の構築と実践に携わる。

■ 山田 明

神戸大学数理・データサイエンスセンター副センター長、全学教育部門長、工学研究科電気電子工学専攻教授。神戸大学自然科学研究科修了。KDDI研究所(現KDDI総合研究所)にてサイバーセキュリティ・ユーザブルセキュリティの研究開発に従事。東北大学情報科学研究科修了、博士(情報科学)。2022年から現職。全学の数理・データサイエンス・AI教育を推進。

■ 吉野 孝

和歌山大学システム工学部副学部長・データ・インテリジェンス教育研究部門長・教授。博士(情報科学)。1992年鹿児島大学工学部電子工学科卒業。1994年同大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程修了。1995年同大学工学部助手。2001年和歌山大学システム工学部助手。2004年同大学助教授。2013年同大学教授。現在に至る。コミュニケーション支援およびビッグデータの社会的応用に関する研究に興味を持つ。

■ 西村 竜一

和歌山大学データ・インテリジェンス教育研究部門講師。1999年名古屋大学工学部卒業。2001年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士前期課程修了。2004年同大学院博士後期課程修了。博士(工学)。同年和歌山大学システム工学部助手。2007年同助教。2019年和歌山大学データ・インテリジェンス教育研究部門講師。音情報処理、ヒューマンインタフェースの研究に従事。日本音響学会、電子情報通信学会、情報処理学会、教育システム情報学会、ヒューマンインタフェース学会各会員。

■ 三浦 浩一

和歌山大学データ・インテリジェンス教育研究部門講師。1999年大阪大学工学部卒業。2001年大阪大学大学院工学研究科博士前期課程修了。2003年同博士後期課程中退。同年和歌山大学システム工学部助手。2007年同助教。2016年大阪府立大学大学院工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。2019年和歌山大学データ・インテリジェンス教育研究部門講師。コンテンツ指向ネットワーク、脳活動分析の研究に従事。

* 本欄はお書きいただいた資料からできるだけ統一し、掲載しました。